

日本移民協會設立趣旨

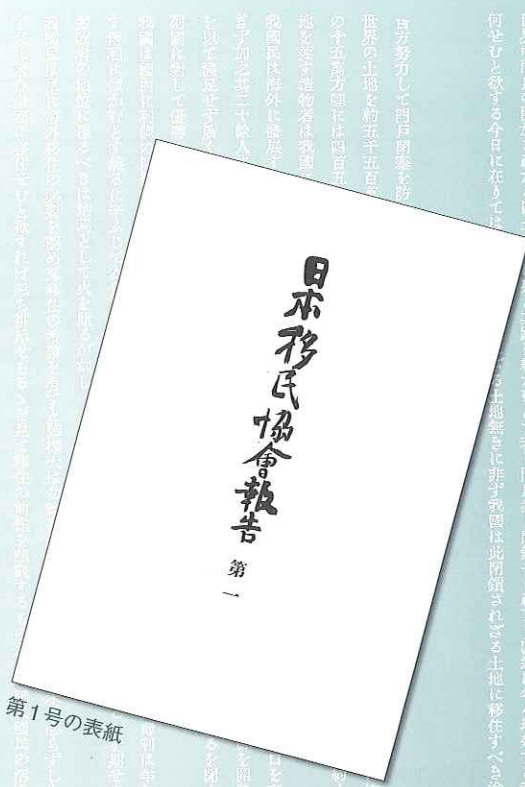
日本移民協會設立の趣旨は本國を離れて他に移住する國民を自然の成行に放任せず一には移住地に於て生活を得せしめ二には國民の對外思想を興起し三には之に依りて通商貿易の發展を期するに在り我國の人口は十三億に達すといはれり而して世界列國の第四位に居る即ち第一は日英の六百五十三人第二は和蘭の四百五十九人第三は露國の四百五十九人第四は我が國の四百五十九人であることと雖も我が國の對外國の關係は漸次其極危險状態を發生せしむるは危からざるべからざるの數なり

息せしめ得ると雖も我國は主として農國にして其業は極めて有利なるを以て此上人口の増殖に任せば國の生活は益々困窮し生存競争を激成し其極危險状態を發生せしむるは危からざるべからざるの數なり

或は曰く工業發達せば生活問題を緩和するに足らざるとも而かも工業の發展は機に百萬内外の工夫を生じながら生活問題の緩和は海外移住を待て他之を求むべからざる也我國は臺灣を領有し朝鮮を併合し樺太の恢復し南洋を勢力範圍と爲しなりと雖之が爲に臺灣に約三十萬朝鮮に約二十五萬南洋に約八萬五千人を移住せしめたるに過ぎず之に外國に移住せる約二十餘萬の人口を加ふるも僅に七十萬人内外に達するの途に達せしめたるに過ぎず在外者の状態斯の如くは我が國は終に立盤の地無きに至らむとす

世界中心の開放されたる國として我々は移住を待てず自ら進んで海外に移民せしむるは危からざるべからざるの數なり

何せむと欲する今日に在りては



第1号の表紙

大正期の移民問題の改善を主な目的として設立された「日本移民協會」(大隈重信=会頭)の機関誌を復刻!

北米はもとより、ハワイ・南米・東南アジア・ロシア・南洋諸島の諸地域にわたる、移民に関わる情報を提供!

日本移民協會々員名簿

- (イ、キ)
- 板垣退助 伯 貴 芝罘烟台二ノ一
- 大養 毅 衆議院議員 牛込馬場下
- 池田謙三 京橋區築地
- 入江 爲守 子 芝罘白金三町三
- 伊東祐弘 子 赤坂區一ツ木町八〇
- 井上通泰 醫學博士 麹町區西香町一ノ三
- 市村環次郎 文藝博士 牛込區若松町四三
- 井上 團了 文藝博士 本郷區駒込富土町五三
- 石田仁太郎 衆議院議員 神田區東區下町五今村方
- 若 崎 幸 四谷區南町八三
- 井上準之助 藤布區三初瀬町
- 稻田周之助 本郷區片町一〇
- 石原毛登馬 東洋移民會社
- 石垣 太平 衆議院議員
- 井深孝三郎 衆議院議員 京橋區南區町二一五
- 市川文藏 衆議院議員 神田區後藤町一四渡田方
- 五十嵐 力 麹町區甲六番町三三
- 伊藤友治郎 新嘉坡日報社
- 飯山卓造 加登女子専門学校市ドミニカ女學院
- 齋部 檢三 輪船株式會社
- 石川 正作 勸業學校附日本商會内
- 原 敬 衆議院議員 芝公園七横街四
- 早川千吉郎 麹町區下二番町七一
- 林田保太郎 麹町區四郎町三番町三番
- 今田主税 衆議院議員
- 伊東 知也 衆議院議員
- 井 坂 孝 衆議院議員
- 五百木良三 衆議院議員
- 磯 江 潤 衆議院議員
- 伊藤 英一 衆議院議員
- 井上角五郎 衆議院議員
- 飯田 永夫 衆議院議員
- 伊藤 義藏 衆議院議員
- 伊藤 欽亮 衆議院議員
- 井上 雅二 衆議院議員
- 濱田 國松 衆議院議員
- 羽田 浪之紹 衆議院議員
- 林 永 太 衆議院議員
- 畑 彌右衛門 衆議院議員
- 箱田 琢磨 衆議院議員
- 原田 甚内 衆議院議員
- 新渡戸 稻造 衆議院議員
- 西村 丹治郎 衆議院議員
- 西田 敏止 衆議院議員
- 橋 川 新 衆議院議員
- 細田 憲藏 衆議院議員
- 本田 親裕 衆議院議員
- 本 康 衆議院議員

日本移民協會報告

全2巻 復刻版

●1914(大正3)年10月〜1919(大正8)年6月刊(全16号を2巻に合本)●B5判・上製・総680頁

●解説(坂口満宏(京都女子大学教授)・総目次・索引 付き)●原本提供 国立国会図書館・東京大学法学部明治新聞雑誌文庫

●定価 本体価格39,000円+税 ISBN4-8350-5207-2 2006年9月刊行

不二出版

一九〇四(明治三七)年の日露戦争後、日本は朝鮮半島を植民地とし、南満洲でもロシアの諸権益を継承し、東アジアへの支配力を増していった。こうした日本の進出を危惧したアメリカでは対日批判が高まり日本人移民への排斥運動が高揚し、一九〇七年の「日米紳士協約」(アメリカへの新規移民の禁止)、さらには一九一三年のカリフォルニア州での第一次排日土地法の成立によって日本人の土地所有や借地等の権利が剥奪されるまでに至った。

こうした北米移民問題の改善を主な目的として、一九一四(大正三年)二月に「日本移民協会」が設立された。渋沢栄一を中心に、大隈重信を会頭とし500名近くの会員で組織され、会報の発行や講演会の開催、移民講習会の実施等、幅広い事業活動を行った。

『日本移民協会報告』は同協会の機関誌として、一九一四年一月から一九一九年六月にわたって全16号発行された(終刊の確認はできず)。その内容は、対北米関係では日本人移民の労働状況・就学状況(二世の教育)等の現状調査、アメリカやカナダへの移民制限のなかでの東南アジア・南米への移民の有望性・将来性、さらには第一次世界大戦で占領した南洋諸島の移住地としての価値など、移民に関わる幅広い論説と情報を提供している。

しかしながら、本誌を所蔵する機関はほとんど無く、移民研究の上で欠くことのできない基本資料として、新たに解説・総目次・索引を付して復刻刊行するものである。……不二出版

日本移民協会之事業

一 在外同胞の後援たるを期する事

在外同胞の爲めに諸種の便宜を計り常に内外の聯絡に任ず

二 移住民に關する情報を國民に知らしむる

協會の移住民に關する調査報告並に國家の機關に據る各種の調査報告を一般的に國民に知らしむ

三 移民排斥に關する調査の事

北米合衆國其他に於て我移民排斥の聲あるを聞く故に此等移民排斥の原因及結果を調査し、根本的救治方法を講究するを要す

四 移民改善に關する調査の事

在外移民の現状たる散漫にして統一及節制を缺くの弊あるを免れず故に此等移民の状態を調査し統制を圖り從來の面目を改善するを要す

九 女子渡航奨励の事

自由移民は若干の準備金を携帯せざるべからず制限は移民を阻遏する結果に歸す故に便宜の方設けて之が解除を期す
(英國には女子移民後援會あり)

五 移民に適する地方調査の事

墨西哥、伯拉西爾、亞爾然丁、及南洋諸島には移殖すべき箇所からず故に是等の地方を調査して移住民の地盤を設定するを要す

六 移住者指導の事

海外移住を希望するもの夥多なりと雖も何れの地に移住すべきやに迷ふ者多し故に豫じめ移住地を調査して希望者を指導するを要す

七 移住者訓練の事

海外移住を企つる者多しと雖も訓練ある者は尠し故に多少の訓練を加へ而して後之を移住せしむるを要す
(伊太利の「マラノ」移民後援會は「マラノ」に於て移

第1号の日本移民協会之事業、日本移民協会役員の一覧より

日本移民協会役員

會頭 伯爵 大隈重信

評議員

- 井上通泰 井上角五郎 井坂 孝
- 早川千吉郎 林田龜太郎 新渡戸稻造
- 西村丹治郎 床次竹二郎 戸水寛人
- 小川平吉 大竹貫一 大原義剛
- 小栗貞雄 大木遠吉 神谷忠雄
- 鎌田榮吉 川田 鷹 高田早苗

關直彦 鈴木梅四郎 末廣重雄

幹事

- 大久保高明 大野若三郎 田島彦四郎
- 中村茂文 中村 弼 山本熊太郎

的野半介 阪元盛徳 宮崎通

會計監督

鈴木虎一

注「日本移民協会報告」各号による。

移民情報	号数	移民情報	号数
西伯利亜移民交渉(露日協会より照会)	3号	戦時欧州移民の趨勢	〃
伯刺西爾移民近信	〃	バーネット移民法案梗概	9号
瓜哇・墨国及加州来信	4号	英国移民奨励の規模	〃
伯刺西爾に於ける米作	5号	南米雜俎	〃
護謨(ゴム)山より椰子園へ(ボルネオ)	〃	伯国小信	〃
比律賓来信	〃	ボルネオ棉作試作	11号
瓜哇来信	〃	北ボルネオ来翰	〃
二重国籍問題解決の要求	6号	単独渡航婦人の保護	13号
玖瑪移民	〃	馬來土地問題の真相	〃
伯拓植民地巡回記	〃	玖瑪近情	〃
バーガン島事情(マリアナ群馬)	〃	智利近情	〃
二重国籍問題の解決	7号	渡米者に対する注意	14号
海外在留邦人数	〃	伯刺西爾近信	〃
真蕘麻耕作の計算	〃	移民保護法改正運動	15号
バーネット移民法案に就て	8号	在里馬日本人の盛況	〃

二 移植民に關する情報を國民に知らしむるに任ず

協會の移植民に關する調査報告並に國家の機關に據る各種の調査報告を一般的に國民に知らしむ

三 移民排斥に關する調査の事

北米合衆國其他に於て我移民排斥の聲あるを聞く故に此等移民排斥の原因及結果を調査し、根本的救済方法を講究するを要す

四 移民改善に關する調査の事

在外移民の現状たる散漫にして統一及節制を缺くの弊あるを免れず故に此等移民の状態を調査し統制を圖り從來の面目を改善するを要す

會頭

伯爵 大隈 重信

評議員

井上通泰 井上角五郎 井坂 孝
早川千吉郎 林田龜太郎 新渡戸稻造
西村丹治郎 床次竹二郎 戸水寛人
小川平吉 大竹貫一 大原義剛
小栗貞雄 大木遠吉 神谷忠雄
鎌田榮吉 川田 鷹 高田早苗

日本移民協會役員

田中善立 田鍋安之助 副島義一
中村進午 永井柳太郎 中野武登
中野二郎 長村金治 中島信虎
内田嘉吉 黒板勝美 倉知鐵吉
保田龜太郎 柳田國男 小泉又二郎
松井淳平 松田順平 江原素六
寺尾 亨 朝吹英二 木内重四郎
宮尾舜治 水町袈裟六 志賀重昂
森岡 眞 守屋此助 元 田 肇

幹事

大久保高明 大野若三郎 田島彦四郎
中村茂文 中村 弼 山本熊太郎

會計監督

鈴木虎一

内容見

二重國籍問題の解決

政府にては國籍法制定當時の精神を擴張して、二重國籍を避け日本民族の海外發展を便利にする趣旨を以て國籍法中改正法律案を第三十七回帝國議會に提出せり其案左の如し

國籍法中左の通り改正す

第十八條 日本人が外國人の妻となり夫の國籍を取得したるときは日本の國籍を失ふ

第二十條の二 外國に於て生れたるに因つて其國の國籍を取得したる日本人が其國に住所を有するときは内務大臣の許可を得て日本の國籍を離脱することを得

前項の許可の申請は國籍の離脱を爲す者が十五年未満なるときは法定代理人より之を爲し滿十五年以上の未成年者又は禁治産者なるときは法定代理人の同意を得て之を爲すことを要す

繼父、繼母、嫡母又は後見人が前項の申請又は同意を爲すには親族會の同意を得ることを要す

國籍の離脱を爲したる者は日本の國籍を失ふ

第二十四條中「前五條」を「前六條」に、「前」に改む

第二十六條中「第二十條」の下に「第二十條」を附則

本法施行の期日は勅令を以て之を定む

之れに對して貴族院は審議の末條文の權衡を

べき箇所からず故に是等の地方を調査して移植民の地盤を設定するを要す

六 移住者指導の事

海外移住を希望するもの夥多なりと雖も何れの地に移住すべきやに迷ふ者多し故に豫じめ移住地を調査して希望者を指導するを要あり

七 移住者訓練の事

海外移住を企つる者多しと雖も訓練ある者は尠し故に多少の訓練を加へ而して後之を移住せしむるを要す

(伊太利の「ミラノ」移民後援會は「ミラノ」に於て移

第1号の日本移民協會之事業、日本移民協會役員の一覽より

上國籍法第二十六條に

前項の許可の申請は第二十條の二の規定に依りて日本の國籍を失ひたる者が十五歳未満なるときは日本の國籍の離脱の際其者の屬せし家に在る父、父之を爲すこと能はざるときは母、母之を爲すこと能はざるときは祖父、祖父之を爲すこと能はざるときは祖母より之を爲すことを要す

との一項を加ふる修正を爲して可決し衆議院に回附したるが、是より先き衆議院にては政府の提案と前後して國籍選擇に關する建議案を可決するあり其趣旨政府の提案と同一なるを以て本改正案の回付を受けるや直ちに之れを可決し國籍法中改正法律案は議會を通過するを見たり、此の如くにして多年の懸案も一朝にして解決せらるゝを得たると共に二重國籍に伴生する故障を掃蕩し在外同胞の地位を堅實ならしむるを得て我が移民史上一新紀元を劃し去りたるは快心の至りに堪へず、尙ほ内務省の調査に依れば大正四年六月末日現在にて

第7号の目次と本文「二重國籍問題の解決」より

日本移民協會設立趣旨及規約 一
日本移民協會處務會計規定及役員 二
米國移民に關する所感 山脇春樹 三
如何にして海外發展を期すべきか 海老名彈正 一三
二重國籍問題の解決 二七
海外在留邦人數 二八
眞菲麻耕作の計算 二九
臺灣勸業共進會 三三
入會者氏名 三三

カナダ移民史資料 全5巻

佐々木敏二編集・解説
収録文献「加奈陀同胞発展史」(明治42年5月・大陸日報社)

カナダ移民史資料 II 全6巻・別冊1

佐々木敏二・権並恒治編集・解説
収録文献「加奈陀在留邦人々名録」(大正15年6月)

移民地事情 全10巻・別冊1

外務省通商局編(大正11年~昭和6年刊)
本誌は、中南米地域(ブラジル・アルゼンチン・ボリビア)

日系アメリカ文学雑誌集成 全22巻・別冊1

篠田左多江・山本岩夫編集・解説
太平洋戦争中、アメリカにおける強制収容所内で発行された、日系人による文学雑誌(日本語)を、今日収集できた。

海外各地在留本邦人職業別人口表 全5巻・附録1

外務省通商局編(明治40年~昭和15年刊)
本資料は世界各地に居住する日本人についてその男女別職業別(後に本業者・家族別)を一覧表にまとめ、何らかの形式でタイトルを変えながらも、明治四〇年以降年一回二十年以上わたって印刷・刊行された調査書である。

戦前期中国在留日本人統計 全8巻

外務省通商局編(明治41年~昭和19年刊)
一九〇九年(明治四二年)六月、外務省通商局編纂による関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表が初めて刊行された。

日本人カナダ移民史

佐々木敏二著
本書は、戦前、カナダへ渡った「日本人移民」の歴史を、滋賀・和歌山両県を中心として、出移民と移住地での定住過程を結びつけ、体系化した、著者の永年の実証的研究成果が結実した労作。

交錯する国家・民族・宗教 移民の社会適応

龍谷大学社会科学研究所叢書 第45巻
戸上宗賢編・著
グローバル化した二〇世紀の移民・移住現象を国家、民族、宗教そして教育などの側面から考察した共同研究書。

日本人アメリカ移民史

坂口満宏著
二〇世紀前半、日米開戦に伴う日系人の強制収容直前までのアメリカ合衆国西北部に形成された日本人移民社会の展開と消滅の過程を歴史の流れのなかで多角的に考察した書。

戦後日系カナダ人の社会と文化

立命館大学日系文化研究会編
多文化主義社会カナダの戦後日系人の抱えた政治的・文化的問題を、組織・祭り・言語・文学・メディア等を通して多角的に追及。執筆：坂口満宏・佐々木敏二・和泉真澄・篠田左多江・彦坂佳宜・山本岩夫・松原美恵・野崎京子。

『日本移民協会報告』掲載の論説

Table with 4 columns: 論者 (Author), 題名 (Title), 参考 (Reference), 掲載号 (Issue Number). Lists various authors and their contributions to the Japanese Immigration Association reports.

宮間國夫著「対米啓発運動」と日本移民協会の設立〜早稲田大学・社研研究シリーズ第33号1994年3月より

表示価格はすべて税別。

不出版

〒113-00023 東京都文京区向丘1-2-12 電話03-3812-4433